



◎6月10日(火)～12日(木) 3年生 沖縄修学旅行

梅雨明けで32℃を超えた沖縄に着いて、クラス別にソーキそばを食べた後、ひめゆりの塔と平和祈念資料館、そしてガマで語り部さんから沖縄戦の惨状を聞き糸満市の平和祈念公園へ向かいそこで沖縄戦で亡くなった方々のご冥福と平和を祈念するセレモニーを行いました。セレモニーでは、生徒代表のみなさんが誓いの言葉を宣言し、3年生が心を込めて制作した千羽鶴を捧げました。(裏面に平和宣言を掲載しています)夜は勇志の実行委員が主催したレクリエーション大会は大盛況でした。翌日も快晴の中、フェリーで伊江島に渡り民家の方々の温かい歓迎を受けてそれぞれ体験に向かいました。気温35℃の夏の暑さの中美しい海でマリンスポーツ(バナナボートや海遊び)を体験し、伊江島の観光や農業体験を楽しみました。3日目、民家のオジイに沖縄民謡の歌や三線、大正琴、打楽器のパーラングーを教えていただいた生徒たちが一夜の成果を舞台の上で披露して、代表が民家の人たちにお礼を言い、フェリーの上からお別れを言いました。美ら海水族館も国際通りの観光もタイトな時間でしたが、何とか全員遅れることなく飛行機に乗ることができました。



6月23日は沖縄戦犠牲者の霊を慰め世界の恒久平和を願う「慰霊の日」です。沖縄戦は太平洋戦争の末期の1945年に、沖縄を本土防衛の最後の拠点とした日本軍と日本本土に攻め入るための基地にしたアメリカ軍を主体とした連合軍とで行われた戦いです。沖縄戦の犠牲者は20万人以上で、そのうち一般の犠牲者はおよそ10万人で沖縄県民の4人に1人が命を落とした悲惨な戦場となりました。修学旅行の前日9日、アメリカ軍の「嘉手納弾薬庫地区」の敷地内にある沖縄県が管理する不発弾の一時保管庫で不発弾爆発事故があり、自衛隊員4人が怪我をしました。80年前の戦争の不発弾が沖縄にはまだたくさん地中に埋まっています。その処理にはまだ50年以上もかかると言われています。修学旅行に行く前に、3年生のみなさんはたくさん沖縄と沖縄戦について調べ学習をしました。

文字や写真や映像で学ぶ以上に、現地に行って割れた茶碗や様々なものが埋まる暗いガマで実際に体験した語り部さんの戦争の話を聞き、沖縄戦で亡くなった方々の名前を刻んだ「平和の礎(いしじ)」を前に黙祷して平和の祈念セレモニーを体験したみなさんは戦争の悲惨さについて、平和の大



切さについて、そして現在の沖縄の美しい自然と民家の人々の温かさについていろいろ感じて考えてくれたのではないのでしょうか。友達と過ごした楽しい思い出とともに、心に刻んでおいて欲しいです。そして、これから広島・長崎の原爆、大阪や岸和田の空襲、そして沖縄戦を通して平和学習を行う1,2年生のみなさんもしっかりと学んで経験してほしいです。

◎6月2日(月) 1年生 大阪万博

4月の2,3年生に続き、1年生も大阪万博に行ってきました。天候にも恵まれ、初めての校外学習をみんなが時間を守って行くことができました。SDGsや未来社会について学ぶことができたのでしょうか。もう一度振り返ってみてください。また、岸和田市のHPから申請すると中学生のみなさんのチケットを無料で入手できますので、良かったらご家庭で行く際にご活用ください。



◎6月2日(月) 2年生 「SDGsラジオ」 株式会社ケシオン出前授業



1分間で、SDGsを手軽に学ぶ“持続可能な”教育コンテンツ「SDGsラジオ」を企画運営する会社、株式会社ケシオンより3名の講師の方に出前授業をしていただきました。1時間目はラジオを聴いてSDGsの取り組みをどんな会社が何のためにどんなこと

をしているのか情報を集めて整理しそれをもとに謎解き問題を作って交流しました。2時間目は一つ会社を選んでその会社のSDGsの取り組みを会社の人と協力できるならどんなことに挑戦するか、将来チャレンジするとしたら自分はどんなアイデアを出すのかを考えて意見交換しました。

◎6月4日(木)、5日(金) 2年生 キャリア学習・職業体験

2日間にかけて、キャリア学習として大阪体育大学浪商高等学校と大学施設の見学と職業体験として大阪市内の工場で見学と体験を行いました。キャリア学習は第1部に 1. 中学と高校の違い、2. 高校選びのポイント、3. 浪商高等学校の紹介 第2部に授業見学、施設見学(校舎、体育館、人工芝グラウンド、陸上競技場など)をさせていただきました。また、職業体験は大正・港・西淀川区のものづくり企業の工場見学をしました。日本の産業を支える“ものづくり”の迫力ある現場を見学し、働くことの大変さや楽しさ、大切さを学びました。協力していただいた企業は大正区(中村工業(株)、紀洋木材(株))大阪港湾局鶴町機械工場、高田鋼材工業(株)、ポリテクセンター大阪港、福井精密工業(株)、(有)飛鳥鉄工所)、港区(成光精密(株)、(有)南歯車製作所)、西淀川区((株)ニッセイ・ニュークリエーション、末広工業(株)、奥村機械製作(株))の12社です。



令和7年度 3年生修学旅行 平和祈念セレモニーでの平和宣言

今から80年前、美しい自然に囲まれたこの地では、日本で唯一の地上戦が行われました。たくさんの尊い命が失われ、これから先に待っていたはずの明るい未来が消し去られてしまいました。私たちと同年代の人たちも、前線に加わり、亡くなりました。

先ほど訪れた「ガマ」と呼ばれる壕を思い出してください。中はひんやりとしていて、湿った空気が肌にまとわりつくようでした。光も風も届かず、静かなこの空間に身を潜めていた人たちは、どれほどの不安や恐怖を抱いていたのかと想像し、当時の人たちの思いを少しだけ感じることができたと思います。壕の壁に残された爪痕のような傷や、今も発見される不発弾は、過去の悲惨な出来事が今もなくなっていないということを私たちに伝えています。そのような見たり聞いたりしたことで、より一層、平和への思いを強く、そして深く感じるようになりました。

「あの時の悲しみを、二度と繰り返してはならない。戦争の恐ろしさ、たくさんの人が受けた痛みを決して忘れずに、今を生きる私たちが平和の大切さについてしっかりと考えなければならぬ。」と。平和は、一人ひとりの心の中にあります。誰もが二度と戦争を起こさないという気持ちを強く持ち、日々の生活の中で思いやりと感謝の気持ちを大切にすれば、平和は護られるはずで。これからも平和への思いを心ひとつに、歩いていきましょう。

戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さを次の世代に伝えていく責任を果たすことを、ここに誓います。

2025年6月10日 岸和田市立桜台中学校 46期生 平和祈念セレモニー実行委員会

